


(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	清須市	子ども会名	<input checked="" type="checkbox"/> 単子 <input type="checkbox"/> 校区 (☑点を記入してください) 祢宜家 (ねぎや) 子ども会	
事業名	大なわとび大会			
活動項目	<input type="checkbox"/> 地域との交流 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに☑点を記入してください)			
活動の内容 ・事業の目的 ・プログラムの内容	・例年球技大会ではドッジボールを行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代替として大なわとび大会に種目をかえて行った。 ・大縄を回す大人と跳ぶ子どもたちの呼吸が一つとなり、協力や交流をはかる。 ・失敗した子に対して励ます心、思いやりの心を育てる、そして体力増進をはかる。 ・大縄を2人の大人が回し、10人の男女混合の子どもたちが同じ方向を向き、3分間に連続して跳んだ回数を競う。これを2回行い、合計回数がチームの実数となる。			
日時	令和4年6月26日(日) 時間10時00分~11時20分	場所	清須市春日地内西牧新田 ふれあい広場	
予算	24,600 円	参加人数	子ども 14名 大人 2名 スタッフ役員 14名	
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	・コロナウイルス感染症予防で、なかなか体を動かすことができない中、感染症対策はしっかりと、観客も応援も入れない中、10名の選手と2名の大人が大縄を回すたびにみんなで心をつなげて、呼吸を整えながら声を出して慎重に跳んでいた。 ・「友達と楽しく跳んだ。」「とても楽しかった。」「またやりたい。」という声が多かった。熱中症対策として、水分補給、テント張って日陰を作った。毎日当日まで草むしりに気を配った。			
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	・大会当日までに3回練習した。最初の頃はなかなか連続して跳べなくて、どうしたら上手にできるか10人で話し合ったり、大人の助言をもらったりして、当日はうまく跳べた。「さあ、頑張るぞ。」「せーのー。」と声をそろえて、仲良く、協力し合っていて楽しくできた。			
HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)	HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)	
				

<個人情報の取扱いについて>

記載された個人情報は、本事業に関する事項以外には利用いたしません。